

平成31年度事業計画書

公益財団法人佐賀県長寿社会振興財団

平成31年度事業計画

I 理事会・評議員会の開催

1 理事会の開催

理事会名	開催予定時期	主な議事
第21回理事会 (定例)	2019年5月	・平成30年度事業報告及び決算の承認について
第22回理事会 (定例)	2020年3月	・2020年度事業計画書及び収支予算書(案)の承認について

2 評議員会の開催

評議員会名	開催予定時期	主な議事
第10回評議員会 (定時)	2019年6月	・平成30年度決算の承認について ・平成30年度事業報告について

II 事項別事業内容

高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、関係団体・機関の協力を得て、組織的・総合的に高齢者の社会活動の促進、各世代の高齢者に関する意識の改革等を図り、もってすべての県民が生涯健康で生きがいをもって生活することができる明るい長寿社会の実現に寄与する。

1 高齢者の社会活動についての県民への啓発普及事業

(1) 啓発普及事業

ア ホームページの運営

- ・財団が行う事業等を見やすく分かりやすく紹介
- ・ゆめさが大学在校生、卒業生の社会活動など高齢者の活動事例を紹介

2 高齢者の社会活動を推進するための組織の育成事業及び団体等連絡調整事業

(1) 佐賀県元気高齢者社会参加活動推進事業

- ・ボランティア活動実績に応じて付与されたポイントを換金できる制度（サポーターティア事業）の円滑な実施及び制度拡充への取組を推進
- ・サポーターティア事業の全県的な普及に向けた取組の強化

(2) 高齢者社会活動支援

- ・高齢者が社会活動へ踏み出すための、ミーティング、スキルアップ、調整等を行う拠点を提供

3 高齢者の社会活動の振興のための指導者等育成事業

(1) ゆめさが大学の運営

- ・社会活動に必要な知識の習得、地域活動実践者の養成
 - ・地域活動体験学習「やってみよう！」
 - ・地域活動への誘導「地域活動相談会」
 - ・ICTを体験実習
 - ・選択制講義（大学院）
 - ・全校講演会
 - ・夏期集中講座
 - ・公開講座
- (ゆめさが大学活性化のための取組)
- ・「ゆめさが大学」のブランディング
 - ・東部校開校に向けた調査・検討

4 高齢者の生きがいと健康づくりのための機会提供・支援事業及び連絡調整の事業

(1) さがねりんピックの開催

- ・スポーツを楽しむ高齢者層の拡大と生きがいづくりを推進
- ・県民体育大会、県障害者スポーツ大会との連携による佐賀県におけるスポーツを振興
- ・全国健康福祉祭派遣選手の選考

(2) 全国健康福祉祭への選手派遣

- ・スポーツと文化に積極的に取り組む姿を県内外にアピール
- ・全国の参加選手や開催地との交流による生きがいづくりを推進

(3) 佐賀県シニアアートフェスタ（佐賀県高齢者美術展）の開催

- ・佐賀県シニアアートフェスタへの名称変更（名称変更の混乱を防ぐため従来の佐賀県高齢者美術展の名を併記）
- ・佐賀県立美術館での作品展示による創作意欲の一層の喚起と生きがづくりを推進
- ・各部門佐賀県知事賞作品は、全国健康福祉祭美術展に出品

(4) 佐賀県シニア囲碁・将棋大会の開催

- ・囲碁、将棋の“腕試し”を通じて、高齢者相互の交流の輪を広げ、生きがいづくりを推進
- ・全国健康福祉祭派遣選手の選考

5 高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報の収集・提供事業及び調査・研究事業

(1) 情報収集提供事業の実施

- ・全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会との連携

1 高齢者の社会活動についての県民への啓発普及事業

- ・ホームページの運営・・・財団が行う事業、高齢者の活動事例等を見やすく分かりやすく紹介

(1) インターネットによる情報収集提供事業

インターネットは、今や高齢者の日常生活においても切り離すことのできない情報獲得手段である。財団のホームページを通じて、財団イベント情報などを、分かりやすい内容で紹介する。

ア 財団ホームページ

- ・財団の具体的な事業内容等の紹介
- ・各種イベント等の案内、ホームページ上での申し込み受付
- ・各大会の成績などの公表
- ・財団の情報公開（貸借対照表の公告等）

イ 他機関のホームページとの協調等

以下の機関のホームページとのリンクにより、利用者の利便等を図る。

- ・生涯学習関係機関（アバンセ等）
- ・相談機関（弁護士会、社協等）
- ・行政機関（国、県、市町）

2 高齢者の社会活動を推進するための組織の育成事業及び団体等連絡調整事業

(1) 佐賀県元気高齢者社会参加活動推進事業

高齢者の地域貢献や社会参加を促進するとともに高齢者の介護予防に資するため、高齢者がボランティア活動実績に応じて付与されたポイントを交付金と交換できる制度（サポーター事業）を推進する。

ア サポーター事業の円滑な実施

(ア) 事業の受託

(委託者)

佐賀中部広域連合

杵藤地区広域市町村圏組合

鳥栖地区広域市町村圏組合

(イ) 受託内容

サポーターと活動場所との調整、活動者の登録管理、受入機関の登録管理、活動ポイントの転換交付、研修会の開催（知識の習得及び登録者同士の交流を図る）

(ウ) サポーター事業の概要

a. サポーター登録及び手帳の交付

事業実施者が活動希望者に対しサポーターとして登録し、サポーター手帳を交付

b. 活動区域等

区域	市町名	年齢	その他
佐賀中部地区	佐賀市・多久市・小城市・神埼市・吉野ヶ里町	65歳以上	要介護・要支援を受けていないこと
杵藤地区	武雄市・鹿島市・嬉野市・大町町・江北町・白石町・太良町	65歳以上 (一部40歳以上)	〃
鳥栖地区	鳥栖市・基山町・上峰町・みやき町	40歳以上	〃

c. 活動場所

事業実施者がサポーターの受入機関として登録をした特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム等の施設や介護予防教室、サロン事業の運営

d. 活動内容

活動場所でのレクリエーション支援、配膳下膳の手伝い、施設催事の手伝い、話し相手（傾聴）や、介護予防教室やサロン事業の運営

e. 活動の記録

サポーター受入機関がサポーター活動実績に応じてサポーター活動手帳にスタンプを押印（1時間当たり1個、1日2個まで）

f. ポイント換金

スタンプ1個は100ポイントとし、年間5,000ポイント（5,000円）を上限に換金することができる。なお、指定団体に寄付することもできる。

イ 推進事業

県下全域での取組の推進や事業内容の拡充のため、各市町の介護保険担当課、各保険者と連絡調整を行う。

(ア) 県内未実施地区との連絡調整

- ・伊万里市、有田町、玄海町との連絡調整
- ・各市町で実施の介護予防事業の把握とポイント制度への取組を検討

(イ) 既存事業の拡充に向けた検討

- ・病院、障害者施設、児童施設など受入機関の拡充
- ・物品などポイントの交換の拡充

ウ 普及啓発事業

県下全域での事業普及と登録者の増加を図るため、関係団体と連携し社会的資源や人的資源を活用の検討を行う。

(ア) 関係団体との連携による普及啓発

- ・市町役場、公民館におけるポスター、パンフレットの掲示等
- ・ゆめさが大学学生が所属するグループ活動を通じた募集活動
- ・老人クラブ連合会や民生委員等と連携した事業普及

(イ) 研修会等の実施

- ・登録者向け研修会 知識の習得及び登録者同士の交流促進
- ・一般向け講演会 事業の周知及び新規登録者の募集

(2) 高齢者社会活動支援

高齢者がこれまで培ってきたそれぞれのキャリアを活かして社会活動へ踏み出すために、ミーティング、スキルアップ、調整等を行う拠点として、佐賀県在宅生活サポートセンターの研修室、会議室の場所の提供を行う。

3 高齢者の社会活動の振興のための指導者等育成事業

(1) ゆめさが大学

- ・社会活動に必要な知識の習得、地域活動実践者の養成
- ・地域活動体験学習「やってみよう！」
- ・地域活動への誘導「地域活動相談会」
- ・ICTを体験実習
- ・学習意欲や満足度を高める講座等の実施
「選択制講義（大学院）」、「全校講演会」, 「夏期集中講座」、「公開講座」
- ・オープンキャンパスの実施
- ・「ゆめさが大学」活性化の取組
「ゆめさが大学」のブランディング
「ゆめさが大学」東部校開校に向けた調査検討

ア 事業の概要

目的	高齢者の積極的な地域活動への参加を促し、自ら生きがいのある豊かな人生を創造できるよう、学習を通じて能力の再開発を援助するとともに、高齢社会における地域活動リーダーの養成を図る。
定員	690人 佐賀校 基礎課程 140人 実践課程 140人 大学院 140人 唐津校 基礎課程 50人 実践課程 50人 大学院 50人 鹿島校 基礎課程 60人 実践課程 60人
対象	おおむね60歳以上 学習に熱意があり、卒業後地域活動を行いたい方 ※大学院はゆめさが大学（佐賀県高齢者大学）卒業生であること
講師	約180人（県内の有識者、地域活動実践者、大学、行政など）
開設場所	佐賀校 アバンセ 唐津校 りふれ 鹿島校 かたらい 佐賀校大学院 アバンセ 唐津校大学院 りふれ
受講料等	入学金 10,285円 受講料 36,000円 （消費税を含む）
年間講義数	佐賀校 基礎課程 30日×2講義×2クラス＝120講義 実践課程 30日×2講義×2クラス＝120講義 唐津校 基礎課程 30日×2講義＝60講義 実践課程 30日×2講義＝60講義 鹿島校 基礎課程 30日×2講義＝60講義 実践課程 30日×2講義＝60講義 佐賀校大学院 30日×2講義×2クラス＝120講義

	唐津校大学院 30日×2講義=60講義
学習内容	<p>○基礎課程 新しい仲間とともに地域活動に必要な知識を学ぶ</p> <p>○実践課程 実技や演習等グループ実践活動を取り入れた学習</p> <p>○大学院 2年間で学習できなかった分野を学習</p> <p>各課程とも、地域活動の実例、活動受入団体等に関して積極的に情報提供し、地域活動実践への誘導を図る。また、学習意欲や満足度を高めるため「選択制講義」を設ける。</p> <p>○全校講演会 全国的に活躍する著名人による講演会（講義）を開催し、活力ある高齢化社会の構築について知識を深め、実践について考える機会とする。</p>
その他の講座等	<p>○夏期集中講座</p> <p>○公開講座</p> <p>○オープンキャンパス</p>

イ カリキュラム等

(ア) 【基礎課程】1年次 30日間 合計120時間

基礎知識の習得のための学習

地域活動の基礎知識	高齢者の役割と知識、高齢者を取り巻く環境 ボランティアとは、コミュニケーションの方法 地域ボランティアの実際、地域活動相談会
現代社会の動き	時事問題、身近な環境問題、身近な財産管理 安全なスマートフォン利用
ふるさとを知る	佐賀県のすがた、ふるさとの歴史
健康の増進	身体と健康、食事と健康
文化に親しむ	文化活動

(イ) 【実践課程】2年次 30日間 合計120時間

歴史、文化などの体験学習で、地域活動のノウハウを学ぶ

地域活動の実践	地域リーダーの役割と知識、地域活動の実際 サークルの主宰者に学ぶ、地域活動相談会
ふるさとを知る	ふるさとの歴史、ふるさとの文化の形成
文化芸術に親しむ	文化に親しむ、芸術に親しむ
健康と福祉	健康の維持、福祉の知識
やってみよう	地域活動の実践、演習

(体験学習)	活動の例 ・歴史施設等ガイドボランティア ・子育て支援ボランティア ・高齢者福祉施設訪問 など
地域活動相談会	シニアの活動を受け入れる団体と、学生が直接面接して、団体に参加する等の活動につなげる。 団体の活動内容のプレゼンテーションと、個別相談会

(ウ) 【大学院】 30日間 合計120時間

地域の特色を活かした分野をさらに深く学習

選択制講義により、学習意欲や満足度を高進

老年学	いきいきと生きる、身体と健康、介護の知識、宗教
現代社会の動き	環境問題を考える、世界の中の日本 タブレット・インターネット体験 地域での新たな取り組み、地域の活性化を考える 地域活動グループの活動、地域活動相談会
ふるさとを知る	ふるさとの歴史（近代・現代） ふるさとの自然と文化
地域活動相談会	団体の活動内容のプレゼンテーション、個別相談会
選択制講義	歴史講座、陶芸講座、パソコン実践講座

(エ) 全校講演会

目 的	全国的に活躍する著名人による講演会（講義）を開催し、活力ある高齢化社会の構築について知識を深め、実践について考える機会とする。
対 象	ゆめさが大学在校生（全員）、卒業生
開 設 場 所	佐賀市文化会館 中ホール
期 日	平成31年10月30日
内 容	・平成30年度地域活動体験学習発表（各クラス代表） ・倍賞千恵子講演会 ・健康体操

(オ) 夏期集中講座

目 的	学生の希望の高いテーマを設定した集中講座を実施し、学生の学習意欲や満足度を高進する。
対 象	ゆめさが大学在校生のうち受講を希望する者
講 師	講座テーマに適した研究者、指導者等
開 設 場 所	アバンセ
受 講 料	1 講座 5, 0 0 0 円
講 義 期 間	8 月 (大学夏休み期間) の 5 日間
講 義 数	1 講義×5 日=5 講義
講 座 名	歴史講座、パソコン講座、健康講座
定 員	1 講座 5 0 人

(カ) 公開講座

目 的 等	一般県民を対象にした「ゆめさが大学」公開講座の開催。テーマは「生涯現役・介護の仕事理解促進」。生産人口が減少する中で、元気な高齢者の退職後のセカンドキャリアとして介護の仕事を選んでもらえるよう研修会の開催を通じて介護の「魅力」「やりがい」を発信する。
内 容	<ul style="list-style-type: none">・定年退職後のセカンドライフの過ごし方・介護保険制度、福祉施設の説明・著名人講演会・活躍中の同世代からの講話・紹介コーナーの設置
講 師	介護等の経験のある著名人、介護関係者等
対 象	一般県民
場 所	県内 5 か所 (佐賀市、唐津市、鳥栖市、伊万里市、鹿島市)
受 講 料	無料
期 日	2019年11月～

期 間	1 研修会1日間 延べ5日間
定 員	1 研修会100人～200人

(キ) オープンキャンパス

入学希望者が、入学前に講義を体験できるようオープンキャンパスを実施する。大学の説明、在校生の声などを聴いてもらうことで、入学のしやすさを創出する。

(2) 「ゆめさが大学」活性化の取組

ア 「ゆめさが大学」のブランディング

ゆめさが大学に対する、認知度、好感度をより高め、親しみを持ってもらうことにより入学しやすさ、「ゆめさが大学」ブランドの確立を目指す。

- ・シンボルマーク（校章）、テーマカラーの設定
- ・校歌の作成

イ 「ゆめさが大学」東部校開校に向けた調査・検討

佐賀東部地域における開校の可能性について調査・検討を行う。

- ・ニーズ調査
- ・講義会場、事務所設置場所等選定
- ・オープンキャンパスの開催 等

4 高齢者の生きがいと健康づくりのための機会提供・支援事業及び連絡調整事業

(1) さがねりんピック2019

- ・スポーツを楽しむ高齢者層の拡大と生きがいづくりを推進
- ・県民体育大会、県障害者スポーツ大会との連携
- ・「第33回全国健康福祉祭ぎふ大会」（2020年開催）への派遣選手の選考会

ア 期 日

2019年10月5日(土)、19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)

イ 参加予定 2,000人

ウ 合同開会式

佐賀スポーツフェスタ2019 合同開始式

（「佐賀県民体育大会」「佐賀県障害者スポーツ大会」「さがねりんピック」）

(ア) 期 日 2019年10月19日(土)

(イ) 会 場 鳥栖市民文化会館（鳥栖市）

(ウ) 参加選手 さがねりんピック「太極拳大会」参加選手

エ 実施種目

選考会	種 目	会 場	主管団体	10月				
				5日 (土)	19日 (土)	20日 (日)	26日 (土)	27日 (日)
全国健康福祉祭岐阜大会選手選考会を兼ねる	卓球	佐賀市立体育館	佐賀県卓球協会					○
	テニス	佐賀市立テニスコート	佐賀県テニス協会		○			
	ソフトテニス	佐賀市立テニスコート	佐賀県ソフトテニス連盟				○	
	ソフトボール	健康運動センター	佐賀県ソフトボール連盟				○	○
	ペタンク	佐賀市西神野運動広場	佐賀県ペタンク協会	○				
	マラソン	(調整中)	佐賀陸上競技協会	(調整中)				
	弓道	鳥栖市民弓道場	佐賀県弓道連盟			○		
	剣道	脊振勤労者体育館	佐賀県剣道連盟			○		
	グラウンド・ゴルフ	佐賀市民運動広場	佐賀県グラウンド・ゴルフ協会					○
	太極拳	鳥栖北小学校	佐賀県武術太極拳連盟		○			
	パークゴルフ	神水川パークゴルフ場	佐賀市パークゴルフ協会				○	
軟式野球	大和中央公園自由広場	佐賀県軟式野球連盟				○	○	

オ 実施方法 競技主管団体へ委託

委託料 52,000円

(2) 全国健康福祉祭への選手派遣

- ・スポーツと文化に積極的に取り組む姿を県内外にアピール
- ・全国の参加選手や開催地との交流による生きがいを推進

ア 大会概要

- (ア) 大会名称 第32回全国健康福祉祭和歌山大会
- (イ) 愛称 ねんりんピック紀の国わかやま2019
- (ウ) 主催 厚生労働省・和歌山県・一般財団法人長寿社会開発センター
- (エ) 共催 スポーツ庁
- (オ) 大会テーマ あふれる情熱 はじける笑顔
- (カ) 会期 2019年11月9(土)～12日(火)
- (キ) 会場 和歌山県内9市12町
- (ク) 大会規模 延べ約40万人(観客含む。)

イ 選手派遣

- (ア) 派遣種目
 - a スポーツ 14種目
卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ペタンク、マラソン、弓道、
剣道、グラウンド・ゴルフ、サッカー、ソフトバレーボール、なぎなた、
パークゴルフ、太極拳
 - b 文化 4種目
囲碁、将棋、健康マーじゃん、美術展作品(6点)
- (イ) 派遣予定人員 120人
- (ウ) 派遣期間 2019年11月8日(金)～12日(火)
- (エ) 選手の決定
さがねんりんピック2018の成績等による各競技団体からの推薦を受け決定

ウ 派遣選手への助成

- (ア) 大会参加費及び交通費等の助成
30,000円/人(大会参加費、交通費、宿泊費)
- (イ) 選手団統一ユニフォーム購入費の助成
7,675円/人(ユニフォーム代の半額相当)

(3) 佐賀県シニアアートフェスタ（佐賀県高齢者美術展）

- ・佐賀県シニアアートフェスタへの名称変更（名称変更の混乱を防ぐため従来の佐賀県高齢者美術展の名称の併記）
- ・佐賀県立美術館での作品展示による創作意欲の一層の喚起と生きがいを推進
- ・各部門佐賀県知事賞作品は、「第32回全国健康福祉祭和歌山大会 美術展」に出品

ア 期 日 2019年7月4日(木)～7月7日(日)

イ 会 場 佐賀県立美術館 3号、4号展示室

ウ 作品部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真

エ 出品資格 県内在住の60歳以上のアマチュア

オ 授 賞

佐賀県知事賞、佐賀県議会議長賞、佐賀県芸術文化協会賞

佐賀県長寿社会振興財団理事長賞、佐賀県老人クラブ連合会会長賞 各1点

佳作 各3点

カ 出品見込 200点

キ 出品料 1,500円/点

(4) 佐賀県シニア囲碁・将棋大会

- ・囲碁、将棋の“腕試し”を通じて、高齢者相互の交流の輪を広げ、生きがいを推進
- ・成績上位者は「第33回全国健康福祉祭ぎふ大会」へ派遣

ア 期 日 2019年11月予定

イ 会 場 アバンセ

ウ 種 目

(ア) 囲 碁

a 上級者の部（三段以上）、b 中級者の部（初段、二段）

c 初級者の部（初段未満）

(イ) 将 棋

a 上級者の部（三段以上）、b 中級者の部（初段、二段）

c 初級者の部（初段未満）

エ 出場資格 県内在住の60歳以上のアマチュア

オ 参加予定 囲碁 60名 将棋 40名

カ 参加料 1,500円

5 高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報の収集・提供事業及び調査・研究事業

(1) 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会との連携

高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の発展向上と、各都道府県推進機構相互間の情報交換や事業推進等について、全国的な意見交換・協議の場として設置された本協議会と連携をもち、より一層の効果的事業展開を図る。

会 議	全国明るい長寿社会づくり推進協議会総会（7月、2月）
研 修 会	テーマ別実務研修（11月）
そ の 他	九州ブロック連絡会議・実務者会議（2月熊本県開催）